

新世代部会

アドバイザー・パストガバナー	高崎 博次（富士宮）
リーダー・次期新世代委員長	野崎 行廣（甲府南）
サブリーダー・次期インターアクト委員長	深澤紗世子（甲府シティ）
サブリーダー・次期ローターアクト委員長	長尾 正明（浜 松）
サブリーダー・次期青少年育成委員長	隈部まさる（甲府シティ）

報告者名：野崎行廣（次期新世代委員長）

協議事項

(1) 次年度計画の説明及び確認について

I A小委員会、R A小委員会及び青少年育成小委員会の各委員長より、資料に基づいて次年度の委員会計画についての説明及び確認がされた。

(2) I A C及びR A Cの会員及びクラブ増強について

- ・ R A Cについては、以前は数十クラブが活動していたが、現在は8クラブとなっているため、会員やクラブの増強が従前から叫ばれているが、まず第一しなければならないことは、それらのクラブがなくなる様にするのではなく、ロータリアンの子息や社員でロータリーに興味のある者に、例会見学などをさせていくことが必要である。
- ・ ローターアクターは、将来ロータリアンになることが勧められているが、実際はギャップがかなりあり、そのための流れが出来ていない。
- ・ I A C及びR A Cの活動に対しては地区から資金が支出されているが、I A C及びR A Cを持っていないロータリークラブについては、それらの活動に対しての関心が薄いため、各クラブにおけるI A C及びR A Cの活動に対する意識を高めていく広報活動が必要である。
- ・ R A Cの会員増強に際して、オイスカの植林事業がアピールポイントになっているクラブがある。
- ・ I A C及びR A Cのあるロータリークラブでは、定期的にアクトのメンバーをロータリーの例会やその他行事に出席させ、絶えず交流を図る。
- ・ ロータリーとI A C及びR A Cのかかわりについて、単に金銭面の助成をするだけでなく、それらの活動を把握し、協同することが重要である。

(3) 青少年育成委員会について

- ・ 学校評議員となることについては、学校側が指定してくるものなので、現実問題とすれば難しい。
- ・ 青少年育成については、多くのクラブで委員会名称は異なるにしても、青少年奉仕に関する活動を行っており、各クラブの大小や実情に合わせてクラブ及びロータリアンとして出来る活動をしていくことが必要である。
- ・ ロータリアンが地域の学校でガバナー会が推奨する職業指導や講師を行うためには、日頃から学校との係わり合いを深め、職業人の集まりであるロータリーであれば対応が可能な旨、P Rしていくことが重要である。

報告事項

- ・南アルプスRCでは、昨年白根高校にIACを創立し、活動を始めている。
- ・浜松北RCでは、インターアクトを対象にボーリング大会や年間行事を通して交流を図っている。
- ・北杜RCでは青少年奉仕に関する事業として、小学生対象のミニバスケット大会、中学生対象の新人球技大会、高校生対象の東南アジアの植林事業、青少年対象のミニ駅伝大会への助成や協力活動を行っている。
- ・甲府南RCでは、インターアクト、ローターアクト及びボーイ・ガールスカウトによる協同事業（甲府舞鶴城公園の植栽事業）を行っている。
- ・浜名湖RCでは、三ヶ日高校と協力して、炭素繊維を用いた浜名湖の浄化プロジェクトを推進している。

要望事項

- ・青少年育成委員会で、青少年奉仕活動の現状把握のためのアンケート調査を行うので、早期回収のため、各クラブの青少年奉仕担当委員会のご協力をお願いしたい。

